



(株)SDSホールディングス2023年3月期第一四半期決算資料  
東証スタンダード コード1711

2022年8月

2023年3月期SDSホールディングス  
グループ構成と業績予想

## SDSホールディングス 2023年3月期グループ構成と業績予想

イエローキャピタルオーケストラ社を新規連結し、住環境におけるSDGs関連事業へ、業容・事業領域を拡大。

2023年3月期第一四半期のSDSグループは、新規にリノベーション企業であるイエローキャピタルオーケストラ社（YCO）を連結し、売上規模は4.5倍（対前年同期比）・総資産は4.0倍（対前期末比）と、業容を拡大しました。

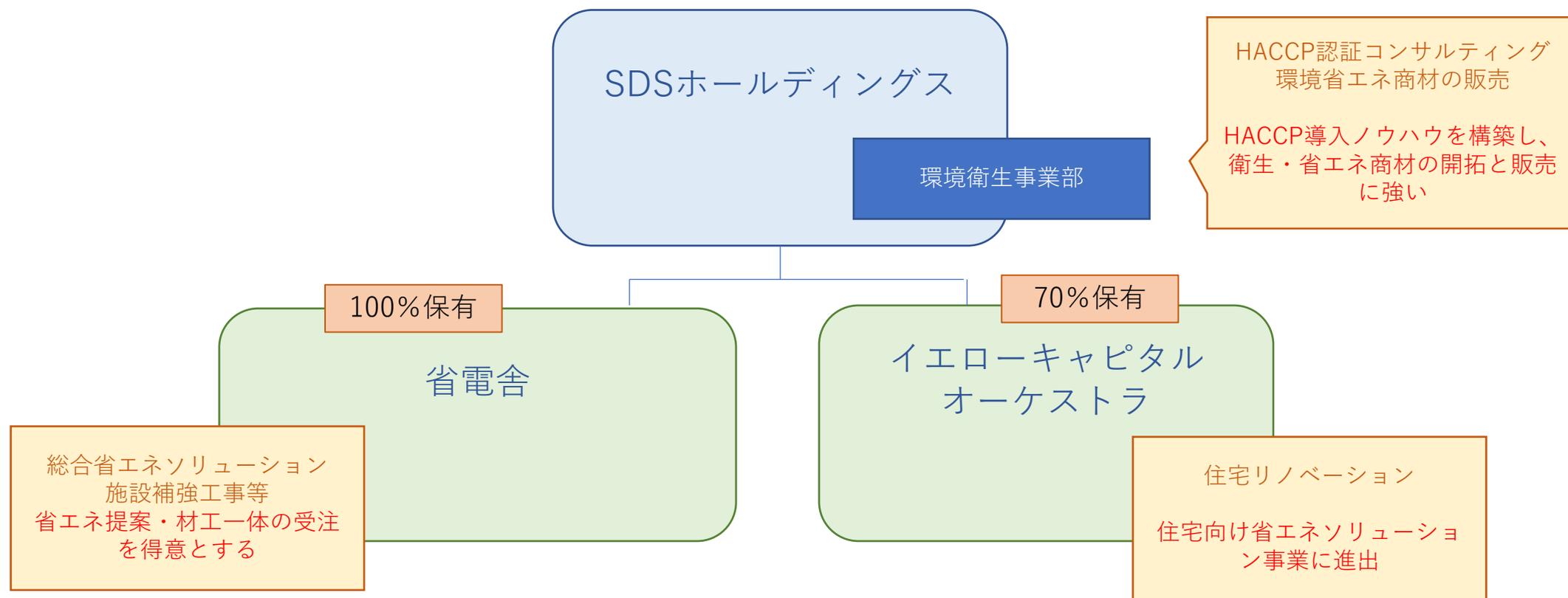
当社事業のコアは引き続き、脱炭素・省エネ・環境ソリューションにあります。世界の気候変動、異常気象による災害の増加、ウイルスなどによる衛生環境の変化という様々な脅威に対処する、という経営方針を、より多様な領域に拡大していきたいと考えています。

イエロー社が推進するリノベーション事業の中では、当社のこれまでの実績を活用し、省エネルギー・温暖化ガスの削減を、B2Bだけでなく、B2CあるいはB2B2C事業である住環境の中でも実現させるため、今後、様々な取組に挑戦して参ります。

これに伴い、今期より当社連結財務諸表では「省エネルギー事業」「リノベーション事業」の2つが、報告セグメントとなります。また本資料では、省エネルギー事業を更に「サステナビリティ」「デベロップメント」「セイフティ&ヘルス」という3つの分野に分けています。

今期通期においては、まず連結での営業利益黒字化を優先課題といたします。また、来期以降の成長性を確保する為、様々な体制・グループ力の強化を企図いたします。

## 2023年3月期 グループ構成



## 2023年3月期連結業績予想

経済活動の再開  
SDGs 需要拡大  
衛生関連事業の寄与

イエロー社寄与  
21億70百万円  
前期同様程度と想定

### 2023年3月期連結 業績見通し

	2022/3	売上比	前期比	2023/3 既存事業 ベース	売上比	前期比	新規連結 グループ ベース	売上比	前期比
売上	1,034,970		22.6%	1,530,000		47.8%	3,700,000		257.5%
売上総利益	173,328	16.7%	-5.3%	293,000	19.2%	69.0%	683,000	18.5%	294.1%
販売管理費	434,023	41.9%	-0.4%	393,000	25.7%	-9.5%	669,000	18.1%	54.1%
営業利益	-260,694			-100,000			14,000	0.4%	黒字化
経常利益	-298,344			-105,000			5,000	0.1%	黒字化
親会社に帰属する当期純利益	-333,788			-105,000			-56,000		

M&Aコスト剥落

## 2023年3月期の会社別売上予想と事業区分

2023年3月期通期予想

前期実績

本第一四半期実績

SDSホールディングス

売上5億60百万円

5億10百万円

HACCP  
バイオマスごみ処理機

セイフティ&ヘルス

売上 5億10百万円  
売上総利益 1億18百万円

セイフティ&ヘルス

売上 14百万円  
売上総利益 0百万円

セイフティ&ヘルス

売上 1百万円  
売上総利益 0百万円

50百万円

省エネ商材販売

サステナビリティ

売上 6億50百万円  
売上総利益 1億16百万円

サステナビリティ

売上 5億77百万円  
売上総利益 105百万円

サステナビリティ

売上 21百万円  
売上総利益 7百万円

省電舎

売上9億70百万円

6億円

省エネソリューション  
再生可能エネルギー

デベロップメント

売上 3億70百万円  
売上総利益 58百万円

デベロップメント

売上 4億43百万円  
売上総利益 68百万円

デベロップメント

売上 83百万円  
売上総利益 11百万円

3億70百万円

施設ソリューション

リノベーション  
売上 21億70百万円  
売上総利益 390百万円

リノベーション※  
売上 22億32百万円  
売上総利益 365百万円

リノベーション  
売上 4億92百万円  
売上総利益 93百万円

イエローキャピタルオーケストラ

売上21億70百万円

21億70百万円

リノベーション

※イエロー社は前期変則決算の為、前々期実績を掲載

## 2023年3月期第一四半期業績

## SDSホールディングス 2023年3月期第一四半期実績

イエロー社新規連結で連結売上は急拡大。既存事業でも、前期比で受注残が80.5%増加し、利益率も回復基調に。

イエロー社の付加価値構築と「S・D・S」各事業の連携が課題

既存事業において、今期は各事業部門が、それぞれの営業によって獲得してきた顧客から、様々なニーズを掘り起こし、SDGs・省コスト・災害対応・施設強化・衛生対策に対応したビジネスに対して、オールSDSグループで当たる、という挑戦をしています。

その成果として、既存事業では受注高が対前年同期比で80.5%増加しており、高まるSDGs需要を徐々に取り込むことが出来始めております。また、衛生関連では食品廃棄物処理設備、HACCP対応施設の施工といった案件が浮上し始めております。

この第一四半期は、既存事業売上高は前年同期比で19.5%減少しましたが、売上総利益率が4.9%改善したことから、売上総利益は10.9%の増加、販売管理費は3.9%減少し、営業赤字は若干の縮小をしています。前期に比べ、好調な受注残高も考慮し、ほぼ順調に推移していると考えております。

また、イエロー社においては、第一四半期は積極的な仕入重視の時期ではありますが、四半期でのセグメント利益での黒字を確保しております。売上・売上総利益の進捗は順調ですが、仕入を先行させた為の営業報酬・登録費用・減価償却（利回り物件）がかさんだため、販売管理費が増えています。通期の予想には関係なく推移すると思えます。

今後、各事業の相互連携をさらに進め、新たなSDGsのビジネスモデルを作ること、イエロー社の区分所有不動産に対するリノベーション事業をSDGs的観点から付加価値を高いものにする、などに重点を置いて活動をして参ります。

## 2023年3月期第一四半期業績概要

	2023年3月期 第一四半期 連結業績	対前年同期比	既存事業 第一四半期業績 (SDSHD + 省電舎)	既存事業 対前年同期比	YCO社	通期連結業績 見通し
売上高	599,299	+352.6%	106,595	-19.5%	492,704	3,700,000
売上総利益	112,841	+561.7%	18,915	+10.9%	93,927	683,000
売上総利益率	18.8%	+5.9%	17.7%	+4.9%	19.1%	18.5%
販売管理費	192,317	+80%	102,690	-3.9%	89,627	669,000
営業利益	-79,475	+10,348千円	-83,795	+6,028千円	4,299	14,000
経常利益	-94,119	-1,003千円				
親会社に帰属する 四半期純利益	-92,197	+3,106千円				-56,000
受注残高	161,793	+80.5%	161,793	+80.5%	-	
		対前期末比				
総資本	3,721,343	4.0倍	-			
自己資本	725,319	+21.8%	-			
自己資本比率	19.5%	-45.1%				

小型案件で粗利率が高い  
ものが貢献

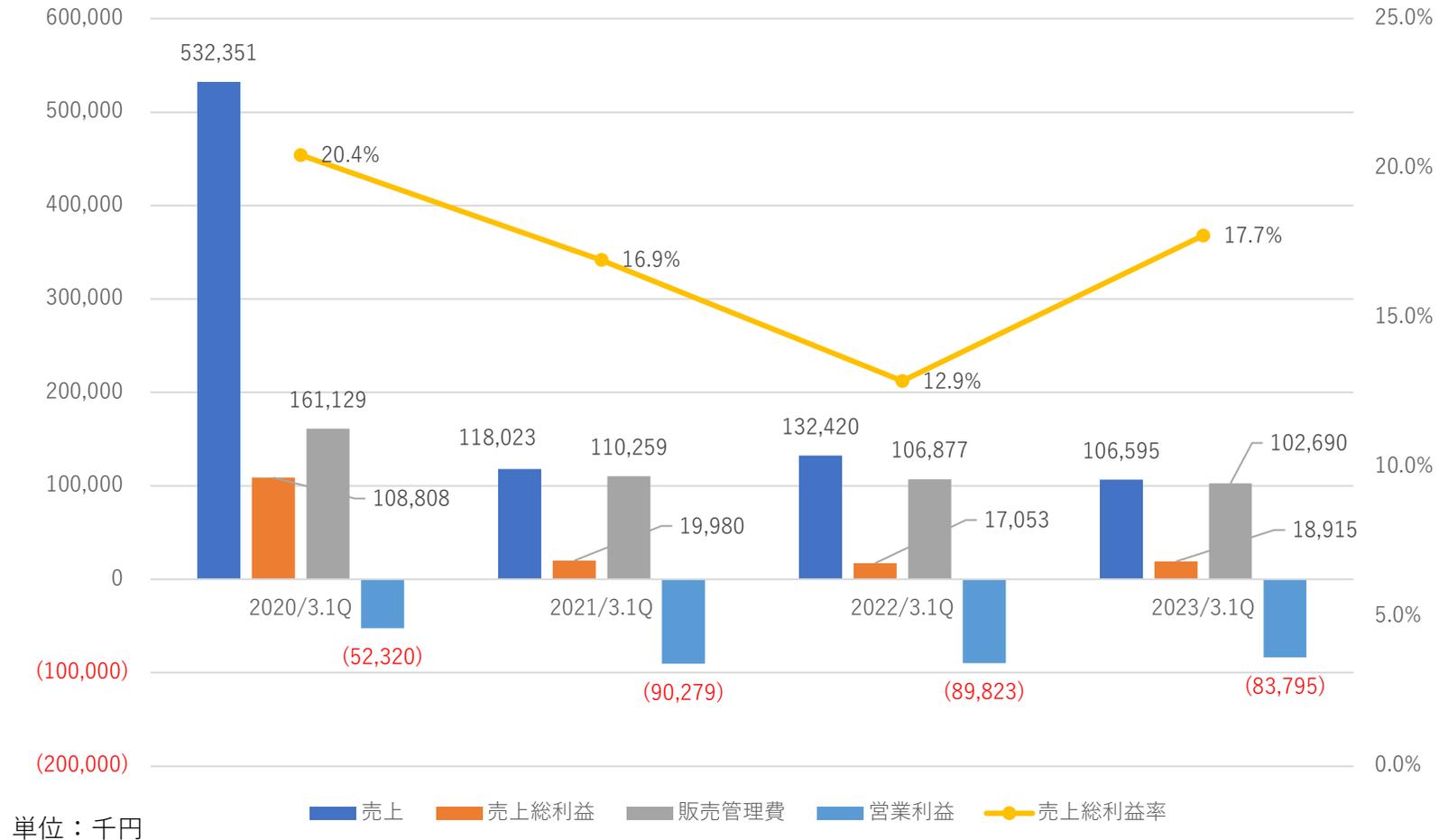
前期実行のコスト削減効果により、  
販管費は低下

物件調達体制・管理体制  
強化を優先課題であった  
為、コストをかけたが、  
黒字を確保

新型コロナの影響低下、  
SDGs需要の急激な高まり  
により、受注残高は好調  
に推移している

## 既存事業の2020年3月期～今期の第一四半期推移

低下し続けていた売上総利益率に回復の兆しがみえている。また、販売管理費は毎年削減に努め、これらの結果、営業赤字は2021年3月期以降、徐々に縮小している。ただし、その水準はまだ低く、今期の好調な受注に期待。



## 2023年3月期・既存事業受注状況

第一四半期における売上・粗利と受注残の売上・粗利の合計は、対前年同期比で、それぞれ20.87%増収、77.70%増益となっている。当社通期見通しでは、それぞれ47.8%増収、69.0%増益となっており、売上高では出遅れているものの、利益では想定超となっている。売上高は、経常の一部がネット計上となった影響もあることから、今後の重要管理点は、粗利と販管費の推移となる。販管費は、前期4Qに計上したM&A費用約3500万円が今期は無いことから、1Q～3Qは1.5%の減少予想となるが、第一四半期では3.9%の減少となっており、こちらも想定超のコスト削減となっている。

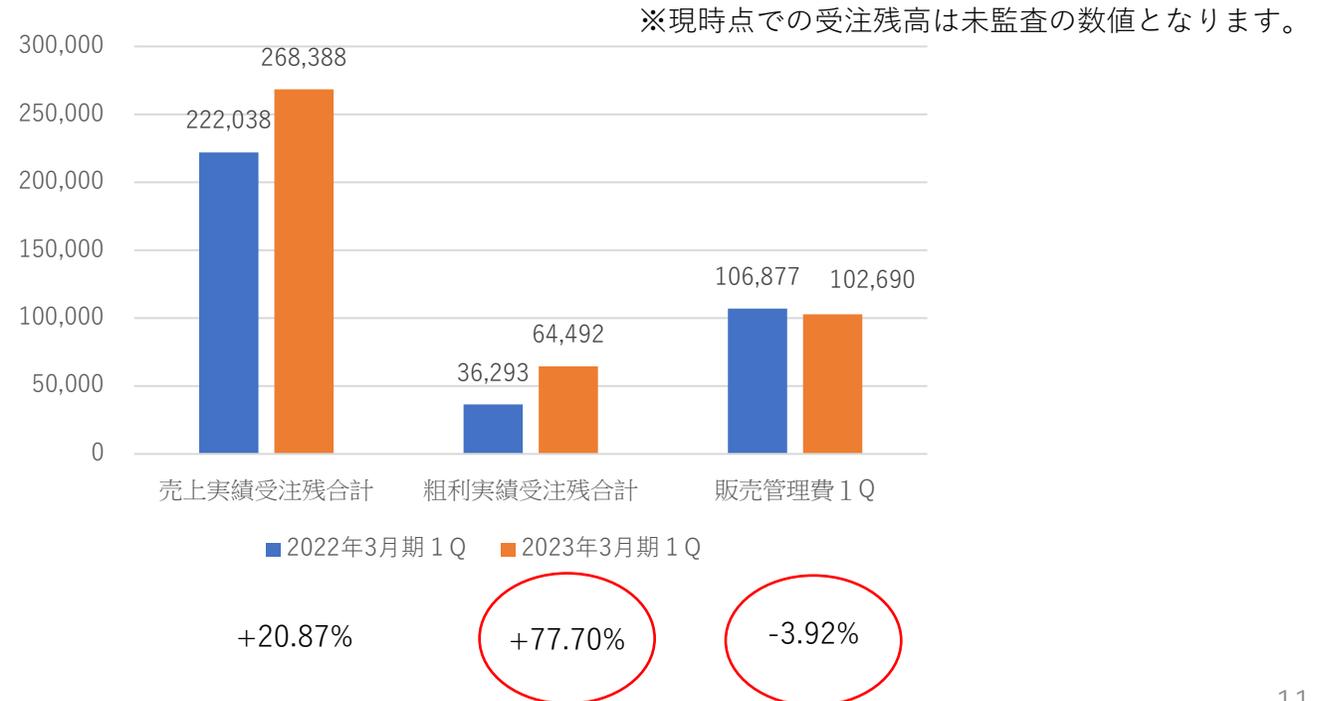
単位：千円

既存事業今期通期見通しと前期比

	今期 見通し	増減率	前期
売上	1,530,000	47.8%	1,034,970
売上総利益	293,000	69.0%	173,328
販売管理費	393,000	-9.5%	434,023

単位：千円

受注残・販売管理費前期比



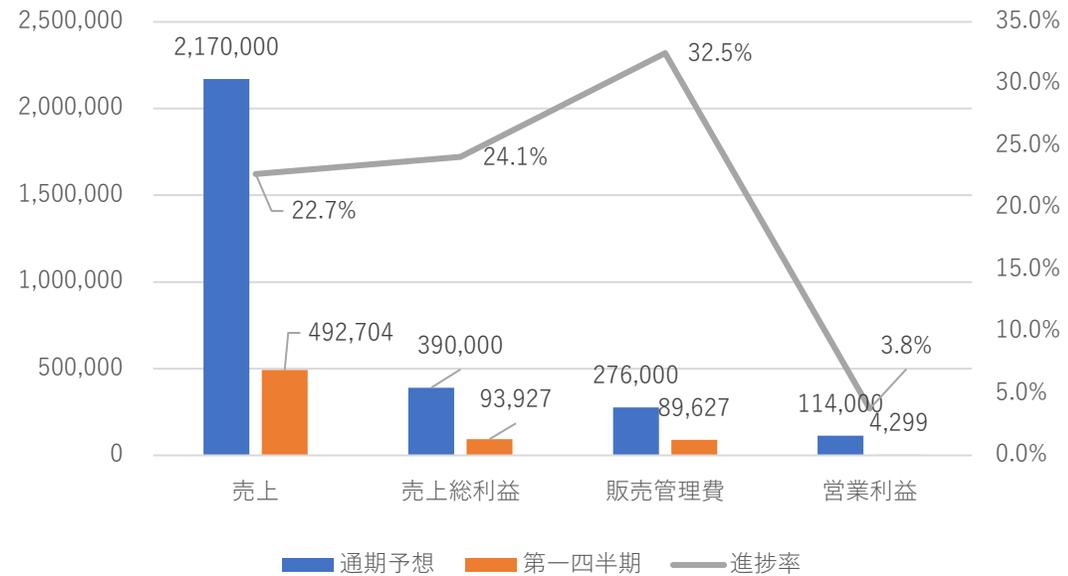
## 2023年3月期・イエロー社状況

イエロー社は今第一四半期では、物件調達力を強化するため、金融機関との極度額設定契約。積極的に仕入を行ったことから、販管費において、それに伴うコストが通常よりも1500万円程度、かかっているが、売上・売上総利益は想定通りに推移している。

今第一四半期に仕入を行った物件の販売が順調に進めば、コストは十分に吸収すると考えられる。

	今期 見通し	増減率	前々期※
売上	2,170,000	-2.8%	2,232,000
売上総利益	390,000	6.8%	365,000
販売管理費	276,000	4.3%	264,627
営業利益	114,000	13.6%	100,373

単位：千円



単位：千円

Y社は前期が変則決算の為、前々期と比較。  
数値は未監査

## 2023年3月期の主な活動

4月 イエローキャピタルオーケストラ社買収完了

6月 新株予約権行使完了

定時株主総会において、新任取締役4名の選任

イエローキャピタルオーケストラ社、千葉銀行と証書貸付に関する極度額設定契約を締結

阿波銀行とHACCPに関する顧客紹介契約を締結  
(4行目の金融機関との提携)

7月 SDGs委員会設置

開示区分		当1Q	前年同期比	戦略区分		当1Q	前年同期比			当1Q	前年同期比			
省エネ事業	売上	106,595	-19.5%	サステナビリティ 主に温暖化ガス削減など持続可能な社会に貢献する再生可能エネルギー、省エネルギー関連事業	売上	21,076	-82.5%	再エネ 太陽光発電施設等の設置	売上	2,894	123.5%			
	売上総利益※	18,915	10.9%		売上総利益	7,513	-50.1%		売上総利益	2,541	286.2%			
	売上総利益率	17.7%	+4.9%		売上総利益率	35.6%	+23.1%		売上総利益率	87.8%	37.0%			
	営業利益※	-83,795	6.7%		総合省エネ 施設全体の省エネ受託				売上	6,623	-92.1%			
	セグメント利益	-78,994							売上総利益	3,668	-63.9%	売上総利益率	55.4%	+33.2%
					その他省エネ LED等の販売施工				売上	11,559	-67.6%			
									売上総利益	1,304	-15.7%	売上総利益率	11.3%	-0.6%
									売上総利益率	11.3%	-0.6%	施設ソリューション 施設強化等ソリューション	売上	83,844
					売上総利益	11,337	+471.7%	売上総利益	11,337	471.7%				
					売上総利益率	13.5%	-2.9%	売上総利益率	13.5%	-3.0%				
				セイフティ&ヘルス HACCP対応、生ごみ処理機等衛生関連				売上	1,675	-				
								売上総利益	65	-	売上総利益	65	-	
リノベーション事業	売上	492,704	-	単位：千円										
	セグメント利益	4,299	-											

## 2023年3月期の戦略

SDSホールディングス 2023年3月期  
「業容拡大・財務内容改善・SDGs需要の高まり」によって、  
営業黒字実現・成長ステージへのステップアップを

新規連結企業の寄与・新規商材の販売

2023年3月期の当社業績見通しは、**新規連結子会社イエローキャピタルオーケストラ（YCO社）の通期寄与、新規商材の販売など**により、業容が大きく拡大することが予想されます。

前期施策による業容拡大・パートナー増加

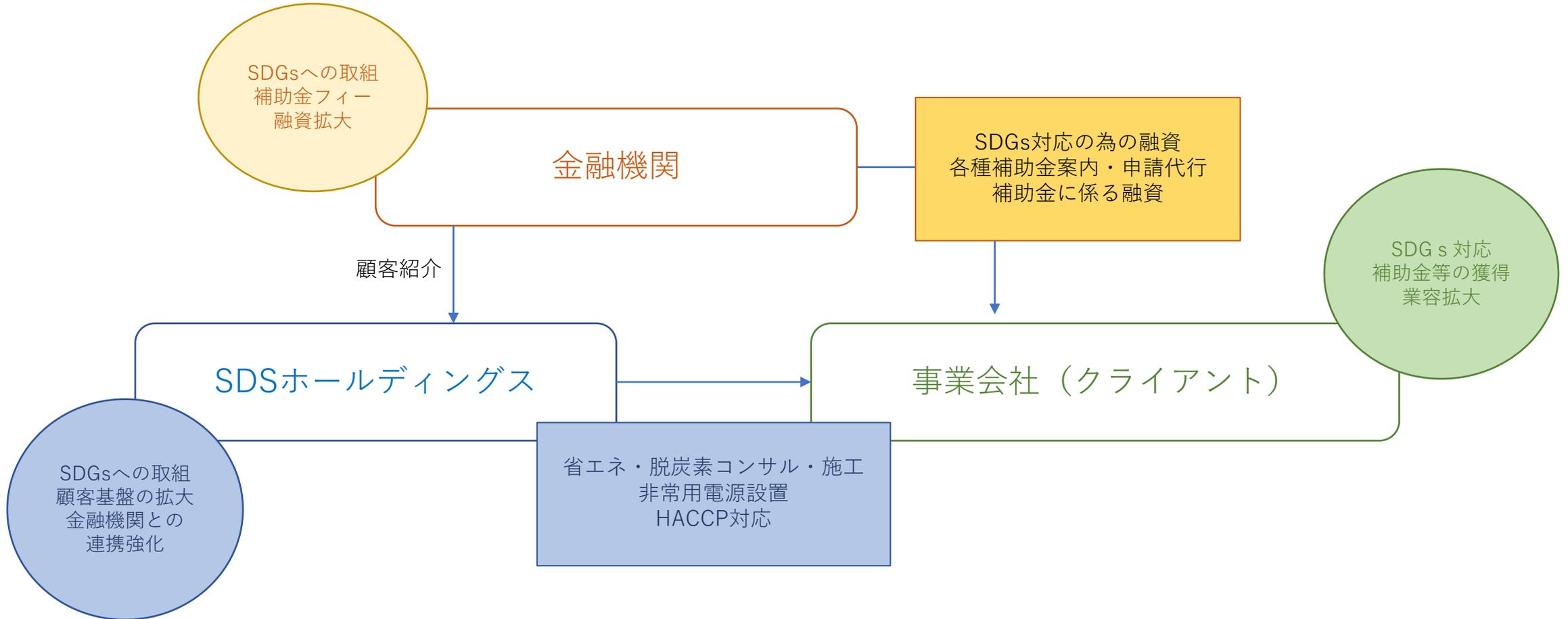
昨年実行した大規模な第三者割当増資、本年3月に実行した主要子会社での減資・純資産額のプラス回復により、今期、当社財務内容改善・信用回復が進むことは、**より多くの営業パートナー・提携先等を取込む営業活動**を可能にします。

SDGsへの取組活発化による需要増

加えて、不透明な経済環境の中とはいえ、多くの優良企業では、SDGsへの取組が積極化されており、当社へも様々な形で問い合わせが来ております。

このようなビジネスチャンスをつかえ、**2023年3月期の営業黒字を達成する**予定でおります。

# 金融機関との提携によるwin-win戦略



## 2023年3月期の注力事業

サステナビリティ＝脱炭素＝自家消費型太陽光発電、デベロップメント＝災害対策＝災害バルク、  
セーフティ＆ヘルス＝衛生関連事業＝HACCP対応事業・食品廃棄物という絞り込んだビジネスと、それに対応したターゲットの開拓に資源を集中

需要	ターゲット	商材
<p>脱炭素 需要 サステナ</p>	<p>SDGs需要がある 大手企業・施設</p>	<p>自家消費型太陽光発電システム 総合省エネ事業</p> <p>工場・その他あらゆる施設の屋上等に、太陽光発電システムを設置し、消費電力の自家発電及び売電を行う。再生可能エネルギー比率を上げ、温暖化ガス削減を進める。</p>
<p>災害対策 デベ</p>	<p>病院・介護施設など</p>	<p>災害バルク 施設改修</p> <p>大規模災害時の電力・ガス等の供給能力喪失に備える為、LPガスのバルク貯槽をはじめとする非常用電源確保のシステムを構築する。</p>
<p>衛生対策 S&amp;H</p>	<p>食品関連工場・施設 ホテル等</p>	<p>HACCP対応施設構築 食品廃棄物処理機器導入</p> <p>2021年6月に本格施行されたHACCP導入制度に伴い、新規の食品工場建設・増築等のHACCP対応をアドバイスし、設計・建設を進める。</p>

## 4年間業績推移

単位：千円

	2019/3	売上比	前期比	2020/3	売上比	前期比	2021/3	売上比	前期比	2022/3	売上比	前期比
売上	1,280,341		-28.4%	2,273,085		77.5%	844,454		-62.8%	1,034,970		22.6%
売上総利益	224,178	17.5%	-3.9%	423,897	18.6%	89.1%	183,079	21.7%	-56.8%	173,328	16.7%	-5.3%
販売管理費	586,294	45.8%	13.2%	591,095	26.0%	0.8%	435,558	51.6%	-26.3%	434,023	41.9%	-0.4%
減価償却	54,199	4.2%	-7.9%	24,469	1.1%	-54.9%	0		-100.0%	326		
暖簾償却	24,735	1.9%	0.0%	6,183	0.3%	-75.0%	0		-100.0%	0		
他引当金	658	0.1%	-99.7%	0		-100.0%	0			0		
営業利益	-362,116		27.1%	-167,198			-252,479			-260,694		
受取利息・配当金	45		-76.9%	1,793		3884.4%	20		-98.9%	24		20.0%
支払利息	16,470		117.9%	7,424		-54.9%	3,320		-55.3%	0		-100.0%
経常利益	-399,757			-171,102			-272,124			-298,344		
親会社当期利益	-161,314			-359,630			-348,374			-333,788		
純資産	495,449		89.3%	19,272		-96.1%	39,184		103.3%	596,609		1422.6%
平均	247,725		-21.0%	257,361		3.9%	29,228		-88.6%	317,897		987.6%
新株予約権	0		-100.0%	0			4,036			1,122		-72.2%
非支配持分	116,167		-36.6%	0			0			0		
自己資本	379,282	自己資本比率	383.2%	19,272	自己資本比率	-94.9%	35,148	自己資本比率	82.4%	595,487	自己資本比率	1594.2%
平均	189,641	19.0%	-40.9%	199,277	2.6%	5.1%	27,210	12.7%	-86.3%	315,318	64.6%	1058.8%
総資産	1,995,055		-7.6%	731,377		-63.3%	277,349		-62.1%	921,661		232.3%
平均	997,528		-1.3%	1,363,216		36.7%	504,363		-63.0%	599,505		18.9%
有利子負債	334,392	DEレシオ	-37.3%	200,000	DEレシオ	-40.2%	0	DEレシオ	-100.0%	0	DEレシオ	
平均	167,196	0.88	-27.9%	267,196	10.4	59.8%	100,000	0	-62.6%	0	0	

## 今期の注力事業

総合省エネルギー・バイオマスごみ処理機など、  
今後の成長率が高い分野の事業へ注力

環境産業の分野別成長率予想



出所：2021年3月：環境産業の市場規模・雇用規模等に関する報告書：  
環境省 環境産業市場規模検討委員会

## バイオマスゴミ処理事業

全自動・消滅型生ゴミ処理機 POITO (POITO)は微生物の力を借りて、生ゴミを分解、微細化し、水として排出する「消滅型」の生ゴミ処理機です。ポイトのもっとも大きな特徴は「残渣物ほぼゼロ」ということです。人が食べられるものならPOITOがほとんど分解でき、分解処理はわずか1時間、さらに概ね5～24時間で消滅させることができます。

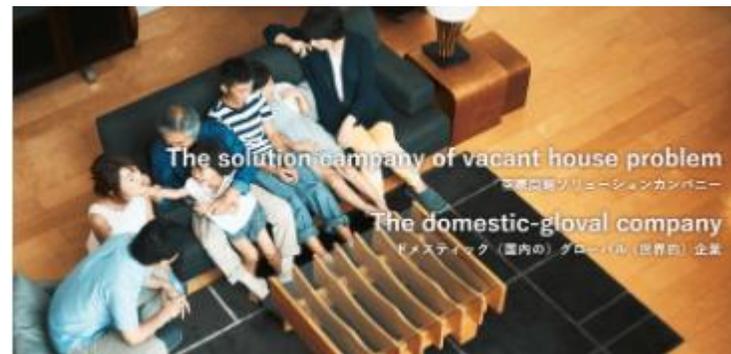


## リノベーション事業

イエローキャピタルオーケストラ社は、リノベーションによる住宅販売を事業としており、当社グループが従来からノウハウを持つ、LED、空調設備機器、非常用電源、自家消費型太陽光発電システム等を活用した省エネ、BCP対応のコンセプト住宅の企画、開発、販売を計画しています。イエロー社が行う中古マンション等の不動産販売事業を、より付加価値が高いものとすると同時に当社グループとしては「脱炭素」をコンセプトとした、より収益規模の大きな事業の展開が可能になります。

- ### 環境的メリット
- ・ 運搬業者の収集トラックの稼働削減
  - ・ 二酸化炭素排出量の削減
  - ・ ゴミ廃棄物に使用されている貴重な土地の確保・有効活用
  - ・ 空気汚染の削減
  - ・ 土壌汚染の削減
  - ・ 排水の生態系への回帰

- ### 経済的メリット
- ・ ゴミ収集コストの削減
  - ・ 全体的な運営コストの削減
  - ・ ゴミ保管・現場内収集に使用される備品コストや労働コストの削減
  - ・ 従業員の効率・持続率アップ
  - ・ 利益向上



# 再生可能エネルギー事業/総合省エネソリューション事業



## 太陽光

太陽光発電は再生可能エネルギーにおいて最もポピュラーな自然エネルギーの活用方法であり、弊社はその設置場所における最適な発電をご提案し、設計・調達・施工を行い、お客様のニーズに合った設備導入を行います



## 商業施設工

弊社では、商業施設をはじめ工場、物流倉庫 病院などあらゆる施設を対象にした建築の設計・監理及び施工、内装工事、施設機器(空調 照明 冷凍設備 etc) を取り扱っております。これらの設計及び機器の導入にあたっては、省エネ・省電力にこだわり資材・機器の適応性を十分に検討し、提案から導入まで万全の体制で行って参ります

## ◆スーパー・食品工場施設施工のご紹介



## エコストアご提案

弊社では、商業施設をはじめ工場、物流倉庫 病院などあらゆる施設を対象にした建築の設計・監理及び施工、内装工事、施設機器(空調 照明 冷凍設備 etc) を取り扱っております。これらの設計及び機器の導入にあたっては、省エネ・省電力にこだわり資材・機器の適応性を十分に検討し、提案から導入まで万全の体制で行って参ります



## 総合省エネルギー改修事業 トータル省エネルギープラン

- 代表的なエネルギー設備
- 蛍光灯・照明設備全般、LED化
- 熱源 (冷凍機、ボイラetc)
- 空調設備
- 動力設備 (ファン、ポンプ、コンプレッサetc)
- 生産設備
- 新エネルギー設備
- 環境対策

etc...

◆省エネルギー関連

千葉県 スーパーマーケット様

「平成26年度補正予算 地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金」



【設備内容】 冷蔵設備、空調設備、照明設備  
【助成金内容】 総金額 79,000千円  
補助金額 37,665千円

病院省エネ型空調設備



◆商業施設関連



事例（スーパーマーケット）



ショッピングセンター  
請負：建築一式工事、ショーケース設備

事例 (物販 ミート&デリ)



ショッピングモール  
 請負：デザイン設計・内装工事  
 ショーケース工事・厨房機器工事

◆工場施設関連

事例 (セントラルキッチン)



セントラルキッチン  
 請負：建築一式工事 (HACCP対応)、厨房工事

長野県 湯田中温泉 ますや

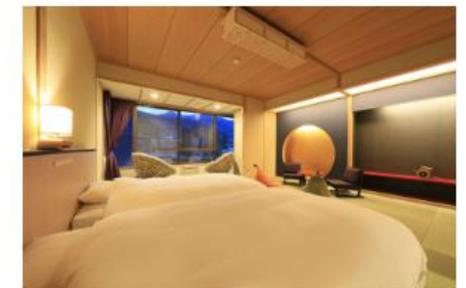
事例 (工場)



製造工場  
 請負：設計・監理業務



405号室



406号室



本資料は当社に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は2022年6月22日現在の情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります